

講義科目名称： 看護学研究法

授業コード： 6610000100

英文科目名称： Nursing Research Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	必修
担当教員			
◎石田和子 大久保明子、岡村典子、高柳智子、伊豆上智子、高林知佳子、谷本千恵、常盤洋子、小長谷百絵			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	大久 保明子	同上	207	ohkubo@niigata-cn.ac.jp
	岡村 典子	同上	216	norio@niigata-cn.ac.jp
	高柳 智子	同上	203	takatomo@niigata-cn.ac.jp
	小長谷 百絵	同上	213	konagaya@niigata-cn.ac.jp
	常盤 洋子	同上	320	yotokiwa@niigata-cn.ac.jp
	谷本 千恵	同上	312	tanimoto@niigata-cn.ac.jp
伊豆上 智子	同上	313	izugami@niigata-cn.ac.jp	
高林 知佳子	同上	304	takabaya@niigata-cn.ac.jp	
【本学の科目区分】 基盤看護分野				
【DP 1】 【DP 2】 【DP 3】 【DP 4】 【DP 5】 【DP 6】 ◎ ○				

到達目標	<p>1 基本的な研究デザインとその基盤となる前提や科学的推論方法を応用することができる。</p> <p>2 看護実践の場における研究活動を展開するために必要な知識を使用し、研究課題の設定、計画立案・実施、論文作成が実施できる。</p> <p>3 卓越した看護実践に求められる Evidence Based Medicine(EBM)/Nursing(EBN)へのアプローチの知識を活用することができる。</p>
------	--

授業概要	看護学における研究のプロセスと方法を幅広く学び、修士課程における各自の研究の基盤作りをする。授業は、主に学生によるプレゼンテーションとそれに基づくディスカッションによって展開する。
------	--

授業計画	1	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：授業の意義と学習方法</p> <p>学修内容：・授業「看護学研究法」の目的と展開</p> <p>・看護学の定義</p> <p>・看護学研究実施に向けた必須知識とその修得</p> <p>備考：石田</p>
	2-3	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義・演習</p> <p>学修課題：文献検索 1</p> <p>学修内容：・文献検討の意義</p> <p>・データベースの活用方法</p> <p>・和文献検索の実際</p> <p>備考：大久保</p>
	4	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義・演習</p> <p>学修課題：文献検索 2</p> <p>学修内容：海外文献検索の実際</p> <p>備考：岡村</p>
	5-6	<p>授業内容</p> <p>授業形態：プレゼン・討議</p> <p>学修課題：質的研究とその方法①</p> <p>学修内容：・質的研究と量的研究</p> <p>・質的研究成果の信用性とその限界</p> <p>①内容分析</p> <p>②グラウンデッド・セオリー</p> <p>備考：石田</p>
	7	<p>授業内容</p> <p>授業形態：プレゼン・討議</p> <p>学修課題：質的研究とその方法②</p> <p>学修内容：・現象学的研究</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エスノグラフィック研究</li> <li>・探索的-記述的質的研究</li> </ul> <p>備考：谷本</p> <p>8 授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：量的研究とその方法 1</p> <p>学修内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・量的研究デザイン</li> <li>・変数の種類</li> <li>・標本抽出</li> </ul> </p> <p>備考：高柳</p> <p>9 授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：量的研究とその方法 2</p> <p>学修内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察法／面接法／質問紙法</li> <li>・生物学的測定</li> </ul> </p> <p>備考：高柳</p> <p>10 授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：量的研究とその方法 3</p> <p>学修内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼性と妥当性</li> <li>・量的研究の批判的分析</li> <li>・量的研究の限界</li> </ul> </p> <p>備考：高柳</p> <p>11 授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：研究計画書の作成方法</p> <p>学修内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題の選定</li> <li>・研究計画書の形式と作成手順</li> <li>・研究計画書の書式とバリエーション</li> </ul> </p> <p>備考：伊豆上</p> <p>12 授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：論文の書き方</p> <p>学修内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究論文の書き方</li> </ul> </p> <p>備考：小長谷</p> <p>13 授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：研究成果を実践に活かすアプローチ</p> <p>学修内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・Evidence Based Nursing: EBN</li> <li>・Evidence Based Medicine: EBMとは、その背景</li> <li>・エビデンスに基づく看護介入のステップ</li> <li>・エビデンスに基づく診療ガイドラインの活用</li> </ul> </p> <p>備考：高林</p> <p>14 授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：看護研究と倫理</p> <p>学修内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究倫理</li> <li>・本学倫理審査のプロセス</li> </ul> </p> <p>備考：常盤</p> <p>15 授業内容</p> <p>授業形態：演習</p> <p>学修課題：まとめ</p> <p>学修内容：プレゼンテーション</p> <p>①講義1～14を踏まえて学んだこと、役立てることは何か？</p> <p>②自らの研究に役立てる点は何か？</p> <p>③②について各自発表しディスカッションを行う</p> <p>備考：石田</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：適宜指示する。</p> <p>事後学習：適宜指示する。</p>
評価方法、評価基準	目標に対して、授業への主体的参加を重視し、出席、討論素材の準備、プレゼンテーション、討論への参加状況、レポートにより各教員が単元毎に評定する。それらを合算し、総合的評価とする。授業 1 コマ (90分) につき 7 点 (15 回目のみ 2 点) を配点する。
テキスト	特定のテキストは使用しない。
参考図書・資料等	バーンズ&グローブ著、黒田裕子他訳 (2015)：看護研究入門原著第9版, エルゼビア・ジャパン, 2023. アメリカ心理学会著, 前田樹海, 江藤裕之 (2023)：APA論文作成マニュアル第3版, 医学書院. 講義の際、さらに文献を提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡をする。プレゼンテーションを行う学生は、授業前に人数分をコピーする。プレゼンテーション、ディスカッションは学生が進行する。
教員からのメッセージ	大学院の研究的な探究の基盤となります。しっかり修得し自らの課題探究に役立てましょう。
オフィスアワー	各教員に随時メールで確認・調整すること